

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	教育ビッグデータを用いた教育・学習支援のためのクラウド情報基盤の研究
研究代表者	緒方 広明（九州大学・基幹教育院・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、大規模な学習ログデータを教育ビッグデータとして蓄積しデータ分析を行うことで、学習者の理解度推定や学習者に適応した教材提供が行えるようなクラウド情報基盤を開発するものである。教育の情報化によって効果的な教育環境を実現することは、世界的にも喫緊の課題となっていることから、本研究の重要性は極めて高いと判断される。</p> <p>応募者のこれまでの研究業績は国際的にも高い評価を受けており本研究を遂行して十分な研究成果を上げることが期待できる。これまでに教育ビッグデータを分析する教育環境を実際に実現している点も高く評価できる。ビッグデータ分析技術の新規性、革新性についての懸念もあったが、以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>